



2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年12月9日

上場会社名 株式会社イムラ封筒 上場取引所 東
 コード番号 3955 URL https://www.imura.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井村 優
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 食野 直哉 (TEL) 06(6586)6121
 兼経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 2021年12月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第3四半期の連結業績 (2021年2月1日～2021年10月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第3四半期	15,302	△5.9	1,083	22.2	1,215	18.7	972	50.0
2021年1月期第3四半期	16,259	△8.9	886	36.8	1,023	44.2	648	45.0

(注) 包括利益 2022年1月期第3四半期 917百万円 (94.5%) 2021年1月期第3四半期 471百万円 (24.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第3四半期	96.87	96.03
2021年1月期第3四半期	64.02	63.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第3四半期	19,384	14,696	75.6
2021年1月期	18,674	14,072	75.1

(参考) 自己資本 2022年1月期第3四半期 14,645百万円 2021年1月期 14,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2022年1月期	—	0.00	—		
2022年1月期 (予想)				20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年1月期の連結業績予想 (2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	1.2	1,020	16.8	1,100	4.2	750	13.6	73.97

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期3Q	10,729,370株	2021年1月期	10,729,370株
② 期末自己株式数	2022年1月期3Q	704,725株	2021年1月期	605,875株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期3Q	10,038,750株	2021年1月期3Q	10,128,502株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在において経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の停滞等により、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループの事業領域に影響を及ぼす郵便及びメール便の取扱数量は、前年同期比横ばい圏内で推移しており、需要回復の兆しは確認されておりません。ダイレクトメール市場においては、「折込・DM郵便料（経済産業省公表）」が増加に転じるなど一部で回復の兆しは確認されるものの、郵便通数を増加させるまでには至っておらず、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは、「Give & Give & Give（全ての人に最高の付加価値を届け続ける）」をテーマに掲げ、「変革とイノベーション（革新）により新たな成長軌道を実現し、企業価値の更なる向上を図ることにより全てのステークホルダーに最高の付加価値を提供する。」を基本方針とする3か年の新中期経営計画「IMURA VISION 2030 Stage I」をスタートさせ、新生イムラの基盤づくりを、全社を挙げて進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、コロナ禍による日本経済の大幅な停滞に伴う需要後退の影響により、153億2百万円（前年同期比5.9%減）となりました。損益面につきましては、付加価値の高い商品・サービスの提案等収益性を重視した各種販売施策の実施や固定費の削減に努めた結果、営業利益は10億83百万円（前年同期比22.2%増）、経常利益は12億15百万円（前年同期比18.7%増）となり、保有株式の一部売却による特別利益の計上もあって、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億72百万円（前年同期比50.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（パッケージソリューション事業）

官需による一部下支えやダイレクトメール用封筒の売上回復等がありましたが、コロナ禍による経済活動後退により需要が落ち込み、売上高は114億37百万円（前年同期比6.7%減）となりました。損益面では、内製化の推進や生産性の向上に努めたほか、上述の収益性の改善も加わり、営業利益は7億57百万円（前年同期比21.5%増）となりました。

（メーリングサービス事業）

コロナ禍による需要の落ち込みがあったものの、既存取引先への深耕活動に加え、官需の取り込みもあり、売上高は28億55百万円（前年同期比4.0%増）となり、営業利益は3億2百万円（前年同期比35.8%増）となりました。

（その他）

情報システム事業及び子会社2社ともに減収を余儀なくされ、売上高は10億9百万円（前年同期比19.9%減）となるものの、販売管理費の抑制や売上総利益率の改善により、営業利益は34百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億9百万円増加して193億84百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ85百万円増加して46億87百万円となりました。これは主に、賞与引当金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ6億24百万円増加して146億96百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。

なお、自己資本比率は同0.5ポイント上昇して75.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,922	4,123
受取手形及び売掛金	3,387	3,308
電子記録債権	1,000	905
商品及び製品	533	518
仕掛品	207	221
原材料及び貯蔵品	458	415
その他	115	140
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	8,616	9,626
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,374	1,305
機械装置及び運搬具(純額)	2,093	1,866
土地	3,636	3,653
その他(純額)	389	392
有形固定資産合計	7,495	7,218
無形固定資産	53	125
投資その他の資産		
投資有価証券	1,206	1,060
退職給付に係る資産	672	635
その他	660	726
貸倒引当金	△30	△8
投資その他の資産合計	2,509	2,414
固定資産合計	10,058	9,757
資産合計	18,674	19,384

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,127	1,050
電子記録債務	1,078	1,008
1年内返済予定の長期借入金	9	7
未払法人税等	276	277
賞与引当金	618	773
その他	954	1,042
流動負債合計	4,065	4,159
固定負債		
長期借入金	89	84
退職給付に係る負債	82	85
資産除去債務	120	121
その他	244	237
固定負債合計	536	528
負債合計	4,602	4,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,368	1,377
利益剰余金	10,801	11,571
自己株式	△328	△426
株主資本合計	13,040	13,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	273	304
退職給付に係る調整累計額	706	620
その他の包括利益累計額合計	980	925
新株予約権	37	37
非支配株主持分	14	13
純資産合計	14,072	14,696
負債純資産合計	18,674	19,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
売上高	16,259	15,302
売上原価	12,296	11,274
売上総利益	3,963	4,027
販売費及び一般管理費	3,077	2,943
営業利益	886	1,083
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	28	31
受取賃貸料	15	16
助成金収入	60	39
売電収入	7	7
その他	38	46
営業外収益合計	150	141
営業外費用		
支払利息	1	0
貸貸費用	5	4
売電費用	4	4
その他	2	0
営業外費用合計	13	10
経常利益	1,023	1,215
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	-	194
特別利益合計	1	195
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	8	10
減損損失	56	-
固定資産圧縮損	4	-
投資有価証券評価損	10	-
特別損失合計	79	10
税金等調整前四半期純利益	945	1,399
法人税、住民税及び事業税	396	431
法人税等調整額	△100	△3
法人税等合計	296	428
四半期純利益	649	971
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	648	972

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
四半期純利益	649	971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△97	31
退職給付に係る調整額	△80	△86
その他の包括利益合計	△177	△54
四半期包括利益	471	917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	470	917
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、2020年3月16日及び2021年3月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式117,500株の取得を行いました。さらに、2021年5月18日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。これらの結果、資本剰余金が8百万円増加、自己株式が98百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が1,377百万円、自己株式が426百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年2月1日至2020年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パッケージ ソリューション 事業	メーリング サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,255	2,744	15,000	1,259	16,259	—	16,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46	0	46	34	81	△81	—
計	12,302	2,744	15,047	1,293	16,340	△81	16,259
セグメント利益	623	222	845	34	880	6	886

(注) 1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発

医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売

機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「パッケージソリューション事業」において、山口美和工場閉鎖の決定に伴い、該当する資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては56百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年2月1日至2021年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パッケージ ソリューション 事業	メーリング サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,437	2,855	14,292	1,009	15,302	—	15,302
セグメント間の内部 売上高又は振替高	45	—	45	78	124	△124	—
計	11,483	2,855	14,338	1,087	15,426	△124	15,302
セグメント利益	757	302	1,059	34	1,094	△10	1,083

(注) 1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発

医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売

機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。